

航空機産業参入支援研究会 第3回セミナー 開催報告書

2016年11月10日
取引振興グループ

1. 開催日時・場所 平成28年11月9日(水) 千葉県成田市成田空港

| | | |
|-------------|-------------|--------------------------|
| 開催 11月9日 | 12:00 | 成田空港第2ターミナルビル集合・出発 |
| | 12:45-14:30 | エンジンセンター2F 概要説明+見学 |
| | 14:40-15:30 | 成田部品工場見学 |
| | 15:45-16:45 | 成田航空機整備センター(格納庫) 見学・質疑応答 |
| | 17:30 | 羽田空港第2ターミナルビルにて解散 |

2. 参加者 研究会企業 17社17名/40社中 航空機コーディネータ3名・事務局等4名 合計24名

3. 開催概要

◎エンジンメンテナンスセンターにて概要説明+エンジン工場見学

JALエンジニアリング森本様より、JALの整備工場の概要、エンジンセンター、部品工場、成田整備工場(格納庫)の役割等の説明、エンジン工場の見学

エンジンの整備は、分解(モジュール分解)洗浄・検査(蛍光探傷検査・非破壊検査等)修理(部品交換・溶接等、最近は板金が減っている。)組立、試運転まで全てのエンジンのメンテナンスを行っている。

GE90型、PW4000型、CF6-80C2系列型、CFM56-7B系型のエンジンの整備を行っている。

◎装備部品メンテナンス工場

装備品のメンテナンス工場でほとんど見学会等では公開されていない工場です。アビオニクス整備部(計器課・無線課・飛行制御課)メカトロニクス整備部(油圧課・機械制御課・装備部品課)に分かれており、コックピット内の計器類・モニター・フライトレコーダー・無線、ランディングギア・アクチュエーター・空調システム・客室内の装備品・ギャレー・ラブラトリーの設備まで取り外して整備を行っている。常に予備の機械を用意しておき、交換される。点検整備される装置は、部品交換・修理・点検を行い、コンピューターを使った擬似運転を行って正常に機能するか確認した後、部品庫に保管される。

◎成田航空機整備センター(格納庫)

航空機の機体点検整備を行う工場、機体整備の概要を説明いただき、体験として救命具の装着を行いました。工場では、機体システム・電機装備品・客室装備品・機体構造・塗装のスキルごとに分担されており、各分野の専門家として高度な技術とチームワークで確かな品質を造りこんでいる。格納庫には小型機から787のような大型旅客機まで入ってきます。JALの飛行機だけでなく、契約を結んでいる他国の飛行機も整備する為、多くの国の認証を取得している必要がある。今回は整備に戻ってきている787の機体を見ながら、機体整備の流れを教わりました。

◎連絡事項(事務局)

・次回セミナー(12/14)についての案内

4. 当日配布物 別途添付

当日の様子

